

がん分子標的治療の進歩

日時 平成23年12月8日(木)
13:00~17:00

場所 日本医師会館 大講堂
〒113-8621 文京区本駒込2-28-16 TEL: 03-3946-2121 (代)

入場無料
事前登録制

13:00 開会の挨拶

高久 史麿 (日本医学会)

13:10 序論:がん分子標的治療とは

前原 喜彦 (日本癌治療学会/九州大学大学院 消化器・総合外科)

I がん分子標的治療と関連学会の役割

座長 前原 喜彦 (日本癌治療学会/九州大学大学院 消化器・総合外科)

13:15 1. 分子標的治療法開発における基礎研究の役割

野田 哲生 (日本癌学会/(公財)がん研究会)

13:25 2. がん薬物療法専門医の役割

田村 和夫 (日本臨床腫瘍学会/福岡大学 腫瘍・血液・感染症内科学)

13:35 3. がん分子標的治療とがん診療ガイドライン

前原 喜彦 (日本癌治療学会/九州大学大学院 消化器・総合外科)

II 基礎研究からがん分子標的治療へ

座長 野田 哲生 (日本癌学会/(公財)がん研究会)

13:45 1. がん分子標的の探索から治療薬開発への展開とその現状

藤田 直也 ((公財)がん研究会がん化学療法センター 基礎研究部)

14:05 2. がん分子標的治療の効果とバイオマーカー探索

西尾 和人 (近畿大学 ゲノム生物学)

III がん分子標的治療時代のがん臨床

座長 田村 和夫 (日本臨床腫瘍学会/福岡大学 腫瘍・血液・感染症内科学)

14:25 1. 血液がんにおける分子標的治療の開発と臨床

照井 康仁 (がん研有明病院 化学療法科・血液腫瘍科)

14:45 2. 肺がんの分子標的治療

光富 徹哉 (愛知県がんセンター中央病院 呼吸器外科部)

15:05 3. 消化器がん薬物療法における分子標的治療薬の位置づけ

吉野 孝之 (国立がん研究センター東病院 消化管腫瘍科 消化管内科)

15:25 4. 分子標的治療と保険診療の問題点

古瀬 純司 (杏林大学 内科学腫瘍内科)

15:45 休憩

16:00 総合討論

司会 前原 喜彦 野田 哲生 田村 和夫

16:55 閉会の挨拶

門田 守人 (日本医学会副会長)

17:00 終了

主催: 日本医学会

第141回日本医学会シンポジウム: 前原 喜彦・野田 哲生・田村 和夫

参加費: 無料 出席者は討論に参加できます。

参加方法: <3方法> FAX送信・郵便はがき・日本医学会ホームページ登録

(記入項目: 氏名、住所、電話、職業)

氏名、住所等の個人情報は、入場券の送付に使用させていただきます。

第三者に提供することはありません。

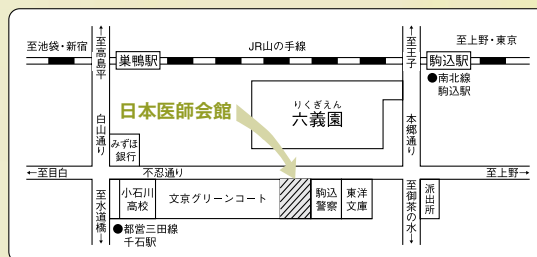
入場券: 参加申し込み後、10日以内に本会より送付します。

締め切り: 先着500名(500名に達した場合には、入場券は送付いたしません)

問い合わせ先: 日本医学会 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館内

TEL: 03-3946-2121 (代) FAX: 03-3942-6517

URL: <http://jams.med.or.jp/>



- JR山の手線「駒込駅」南口より徒歩約10分
- 東京メトロ南北線「駒込駅」出口2より徒歩約10分
- 都営地下鉄三田線「千石駅」A3出口より徒歩約5分



日本医学会

生涯教育制度 (但し関係者のみ)

参加者には、日本医師会生涯教育制度(4単位)および8カリキュラムコード(4、8、28、42、46、50、53、54)が付与されます。同時に日本内科学会認定総合内科専門医更新(2単位)の取得参加証が発行(予定)されます。